

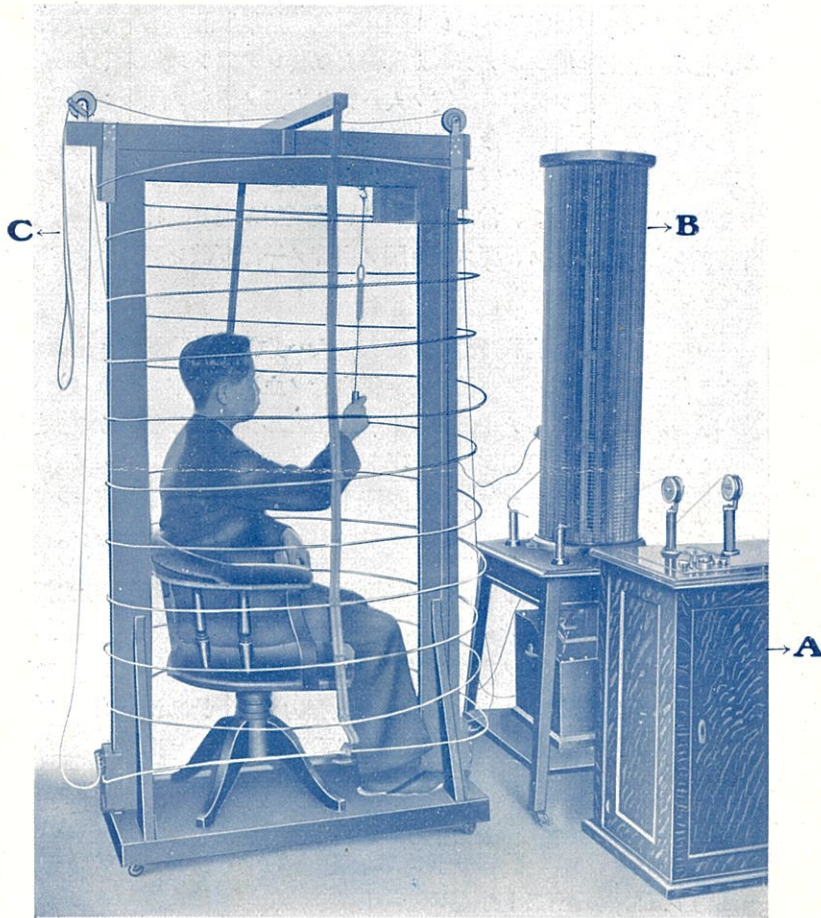
登 録



商 標

テ ス ラ 装 置

(一居アルソンバリザチオン装置)



東京 医療 電気 機 製造 所

シーメンス、ライネーゲル、ファイファ会社 代理店
富士 電 機 製 造 株 式 會 社 特 約 店

酒 井 信 正

東京市本郷區春木町二丁目十五番地

電話小石川三八八〇番

テスラ装置ノ効力並ニ適應症

一名 (アルソンバリザチオン装置)

近來腦溢血ニテ倒レル人が非常ニ多クナリマシタ、此ノ病氣ハ統計上夏期ヨリモ却ツテ冬期ニ多イノデスガ又春秋ノ時候ノ變リ目ニモ割合ニ多イノデス、然モ突然ニ發病シテ忽チ命ヲ取ラレルノデアリマスガ、實際ハ倒レル迄ニハ既ニ數年以前ヨリ血管ガ硬化シツ、腦溢血ヲ惹起ス準備ガ出來上リ居レルノデスガ御當人が其レヲ知ラヌ爲メ豫メ手當ヲ加ヘズニ放適スル故デアリマス、從ツテ卒中體質ノ人ハ此ノ方面ノ注意ヲ深クシ日常腦溢血ノ原因及ビ其手當等ヲ能ク知ツテ居レバ命ヲ取り止メラレルノデアリマス、本病ハ卒中體質ト申シテ頸ガ太ク短ク、肥滿セル多血質ノ四十歳以上ノ男子ニ極メテ多クアリマス其ノ前兆トシテ片手ノ指先ガ時々痺レタリ、舌ガ縄レタリ、後頭部ガ痛ク、耳鳴リ、目暈等ヲ生ジ充分睡眠ノ出來ザル事ガアリマス、要スルニ腦ノ血管ノ一部ガ破レソウニナル時ニ以上ノ如キ病狀ガ起ルノデアリマス。

治療法……………以上ノ如キ病狀ヲ呈セル時其ノ人ハ非常ニ危險状態ニ直面シツ、アル時デアリマスカラ其手當トシマシテハ第一番ニ御自身ノ血壓ヲ降下サセネバナリマセヌ、之ノ使命ヲ果ス唯一ツノ装置ガ即チ「テスラ」一名「アルソンバリザチオン」装置デアリマス然シ前述セシガ如ク本病ハ發病迄ハ既ニ數年間ノ準備時代ヲ經テ居ルノデアリマスカラ一度位本装置ヲ使用スルトシテモ忽チ血壓ヲ降下シテ全快スルト云フ譯ニハ參リマセヌ氣永ニ使用シテ血壓ヲ序々ニ降下セシメネバナラス事ハ云フ迄モアリマセン。

使用法……………圖ノ如キ「**Aテスラ**高壓電流發生機」「**Bテスラ**電流發生機」「**C大型ソレノイド**」ノ三具ヨリ成リ普通ノ交流百ボルトノ電流ヲAニ連結シテ高壓電流ニ昇壓シ更ニ之ヲBニ連結セル時ニ高周波ノ高壓電流即チ「**テスラ電流**」ニ變化サル、此ノ「**テスラ電流**」ヲCノ上下兩端ニ連結スル時ニハ茲ニ一大強力ナル「**テスラ電流**」ヲ生ジC内ニ包容セラレタル人體ニ向ツテ空間ヲ通ジテ大電力ヲ發散ス、人體ニ向ツテ電氣ガ發散致シ居ル事ハC内ノ人が上方ヨリ吊ラレタル「**ガイスレル管**」ヲ握ル時、同管ガ美麗ナル燐光ヲ生ゼル事ニヨリ明示サル、次ニ電流ノ強弱調節ハBニ取付ラレタル「**エボナイト**」把手ヲ上下ニ動かス事ニヨリ行ハル、普通ハ下ヨリ二分ノ一位ノ位置ニスルヲ最モ最適トス、使用時間ハ一回約十五分間乃至二十分間ヲ適當トス、使用終了後ハ第一ニA「**スイッチ**」ヲ開キテ後Cノ紐ヲ引ク時、金屬線輪ハ上方ニ捲上ゲラレテ内部ノ人ヲ自由ニ引出スヲ得、

尙本装置ニ關シ最モ經驗アル渡邊醫學博士ハ次ノ如キ御報告ナサレマシタ

テスラ装置ハ高血壓ノ人ニハ確カニ効力ガ有ル様ニ思フ、普通一回十分乃至二十分位「**ソレノイド**」ノ内ニ居ルト人ニヨリ血壓ガ五—三十ミリ位降下シ其儘デ四日乃至七日位ハ保ツガ又昇ツテ來ル傾向ガアル、其際ハ又「**ソレノイド**」ノ中ニ入レバヨイ、要スルニ三四日置ニ使用スレバ連續的ニ血壓ガ降下シテ居ル事ニナル、先ヅ現今血壓降下ノ目的ニハ本装置ハ効果ガアル様ニ思フ

適應症……………動脈硬化症、腦溢血、血壓亢進症、慢性腎臟病